



本作品は紫陽花と蝶、蜂を描いたものである。蝶が15種類63匹、蜂が2種類18匹で合計81匹の昆虫を描いた。

蝶や蜂などの昆虫は成虫になってから約2週間しか生きることができない。ここに描かれている蝶は種類によって発生する時期や場所が異なっている。ナミアゲハやジミチョウは住宅街など私たちの身近で見られるが、オオムラサキやカラスアゲハは自然豊かな場所でしか見ることはできない。実際には出会うことのない蝶たちが巡り合う夢の世界を描いた。それは蝶が見ている夢でもあり、私自身が見ている蝶の夢でもある。

日本画

岩絵具、水干絵具、胡粉、墨、雲肌麻紙 H182cm×W227cm 1点

令和6年度 筑波大学芸術専門学群 卒業研究・作品集より

このコーナーでは、筑波大学芸術系ならびに同大学の芸術専門学群を卒業された方々のご協力のもと、芸術作品を掲載しています。